

セーリングをもっと楽しく

Maximize fun of sailing

by easy access, open community, high Performance.

私たちは、一人でも多くの方が生涯を通してセーリングを楽しみ、
その楽しみを最大化できる環境の実現を目指します。

セーリングをもっと楽しく Maximize fun of sailing



**もっと身近になる
Easy Access**

セーリングの魅力を知る機会が増える
より多くの人々がセーリングに接点をもつ
より多くの人々が競技を始めようと思う



**関わり続ける
Open Community**

誰もが気軽に参加できるコミュニティがある
セーリングを楽しみ続けるために海洋環境を守る
より多くの人々がセーリングを続けやすい環境がある



**もっと強くなる
High Performance**

選手の可能性を引き出す育成システムがある
より多くの選手が世界最高の舞台で活躍する
より多くの人々が選手を応援し、喜びを共有する



もっと身近になる Easy Access

セーリングを知る機会が増える
→一般の認知・関心の向上

より多くの人々がセーリングに接点を持つ
→気軽に始められるモデルづくり

より多くの人々が自分も競技を始めようと思う
→ファン拡大を通じたJSAF会員数増加

より多くの人々が、セーリングに接する機会を増やし、身近に感じられる

背景・意図

セーリングを知り、興味を持つ機会は極めて少ない。仮に知っていても、体験する機会は限られ、その魅力を感じることは簡単ではない。セーリング経験のある親でさえ、遠く・高く・面倒だと感じて、子供に経験させることは少ない。興味を持った人がいても、体験や意欲を高める機会を用意できていない。

課題・方向性

1. 一般の認知・関心の向上

- ✓ 一般への広報・PRに力を入れ、広報の強化とWebを活用して競技の魅力を伝え続ける
- ✓ 大会やイベントの盛り上げ、スター選手の輩出などを通してメディアに取り上げられやすくする

2. 気軽に始められるモデルづくり

- ✓ 興味を持ったなら近く・安く・簡単に試乗できる、家族と一緒に体験できるなど、さまざまなニーズに応じてセーリングを始められる環境（人・道具・場所）をつくる

3. ファン拡大を通じたJSAF会員数増加

- ✓ 継続的なコミュニケーションによって、継続的にファンを獲得する
- ✓ ファン自身が競技を始められるような機会を作り、結果として会員数増加を目指す



関わり続ける Open Community

誰もが気軽に参加できるコミュニティがある
→より健全なセーリング文化の醸成

セーリングを楽しむ続けるために海洋環境を守る
→海洋教育やマリンスポーツと連携した社会貢献

より多くの人々がセーリングを続けやすい環境がある
→普及や強化を担う所属団体の支援

多様な人々が関わり、生涯を通じてセーリングを楽しみ続けられる

背景・意図

既存のコミュニティと文化に起因して、セーリングと距離を置くことを選択する人が一定数いる（多様性への不寛容やハラスメント感覚欠如など）。多くの団体において組織の運営・維持は大きな負担となっている。生涯スポーツとしてセーリングを楽しみ、活動を継続することを、支援・指導する人材が全国的に不足している。他のマリンスポーツや地域社会などの連携を通じた自然体験や海洋教育の可能性を活かしきれていない。

課題・方向性

1. より健全な文化づくり

- ✓ スポーツマンシップと多様な価値観を重んじる文化をつくる（ハラスメント等を排除する）
- ✓ セーラーが、家族や友人・知人を誘いたくなるコミュニティをつくる

2. 海洋教育やマリンスポーツと連携した社会貢献

- ✓ 海洋環境保全やシーマンシップ教育などにより、持続可能な社会の実現に貢献する
- ✓ マリンスポーツや地域社会などとの連携を通して、多くの人々が学び、楽しめる機会をつくる

3. 普及や強化を担う所属団体の支援

- ✓ 組織運営や事務手続きの効率を高めて、各団体がセーラーの普及と強化に専念しやすくする
- ✓ 社会の変化に応じて、より透明性の高い組織運営と効果的な役割分担を行う



もっと強くなる High Performance

選手の可能性を引き出す育成システムがある
→ジュニア世代からの連続性のある強化

より多くの選手が世界最高の舞台上で活躍する
→世界トップレベルの選手を輩出し続ける

より多くの人々が選手を応援し、喜びを共有する
→選手を知り、応援したくなる環境づくり

より多くの人々が、トップ選手を応援・支援し、喜びを分かち合える

背景・意図

世界トップレベルの選手の輩出は、普及・強化・メディア価値の視点から不可欠である。今後は予算と人材に限られるなかで、才能ある選手の発掘と連続性をもった強化がより重要となる。また、ジュニア・高校・大学などのステージを超えて、意志のある若い選手が、キールボートを含んだ競技を続けられる支援も必要となる。

テクノロジーの進化により、競技の理解のしやすさが飛躍的に高まり、「観る」「支える」といった関わり方、楽しみ方が生まれる可能性がある。トップ選手の社会的な貢献もこれまで以上に重要となる。

課題・方向性

1. ジュニア世代からの連続性のある強化

- ✓ キールボートを含むステップアップの道筋を明らかにし、一貫した競技力向上プログラムを定める
- ✓ ジュニア・ユース世代の指導者の発掘・育成と保護者を含む選手支援プログラムを定める

2. 世界トップレベルの選手の輩出（オリンピックのメダル獲得+キールボート最高峰レース参戦）

- ✓ 選手間の相互学習、より高度なIT/データ/科学的知見の活用など、より組織的な強化を実現する
- ✓ 広報・マーケティングによりスポンサーを獲得し、強化資金を戦略的に配分する

3. 選手を知り、応援したくなる環境づくり

- ✓ ファンがトップ選手を応援し、交流できる大会・イベントの企画と運営を実現する
- ✓ セーリングの発展に向けたトップ選手・指導者の役割を定め、必要な教育と支援を行う

	認知	普及	強化	社会連携
もっと身近になる Easy Access	(1)-1. 一般の認知・関心の向上	◎	○	
	(1)-2. 気軽に始められるモデルづくり	○	○	
	(1)-3. ファン拡大を通じたJSAF会…	○	◎	
関わり続ける Open Community	(2)-1. より健全な文化づくり		◎	○
	(2)-2. 海洋教育やマリンスポーツと…	○	○	◎
	(2)-3. 普及や強化を担う所属団体の…		○	◎
もっと強くなる High Performance	(3)-1. ジュニア世代からの連続性の…		○	◎
	(3)-2. 世界トップレベルの選手の輩出	○		◎
	(3)-3. 選手を知り、応援したくな…	○	○	◎